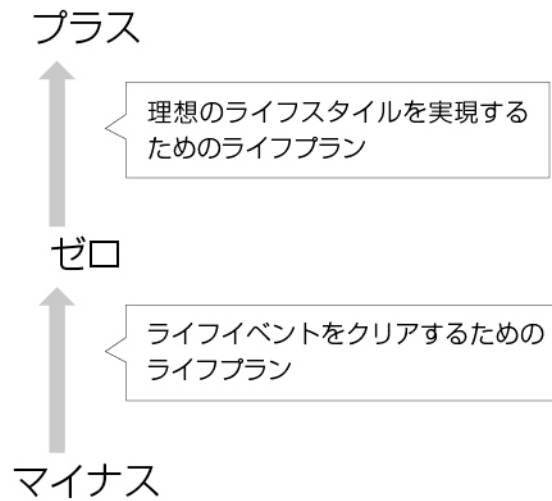


ライフプランには2種類ある



「人生の予算」にしばられない

一般的には、ライフプランというと、こうしたライフイベントをクリアするためのライフプランを指します。また、今の時代は、子ども2人の教育費を奨学金を借りずに準備し、住宅ローンを定年までに払い終え、老後の生活資金を準備できているだけで恵まれている、という風潮があるので、私たちは無意識のうちに高望みをしない、してはいけないという思考になりがちです。

しかし、人生は一度きり。加えて、誰のものでもなく、自分の人生です。いまから軌道修正することはできても、命が尽きてからやり直すことはできないのが人生です。多くの人はこちらだから、時代がこちらだからという風潮に遠慮をしたり、妥協をしたりする理由はどこにもありません。

多くの方は、人生において、増減の激しい収入や消費のパターンよりも、安定した収入や消費のパターンを好みます。特に日本人は安定志向が強いため、こうした傾向が顕著です。そのため、ファイナンシャルプランナーや保険会社がつくるライフプランでは、人生の要所要所において、なるべく借金をせずに、人生の変動が大きくならないようにパターンを均す選択をとりがちです。しかし、こうした平準化に気持ちが傾くと、自分の人生を本当の意味で充実させることを後回しにしてしまいます。夢や実現したいライフスタイルは、多くの場合、無駄ととられる支出を伴うので、「ライフイベントをこなすためのライフプラン表」には記述しづらいでしょう。

- ・収入や支出が安定しないという「リスク」
- ・一度きりの人生に満足感が足りない「リスク」

あなたは、どちらの「リスク」を避けたいでしょうか。

ここが大切

すべての収入や生活にかかるお金、必要な貯蓄などの情報を集約し、方程式によってマネープランのつじつまが合うようにする考え方を「生涯予算制約」と呼びます。あらかじめ人生全体の予算をはじき出し、その中でやりくりするようにする考え方です。